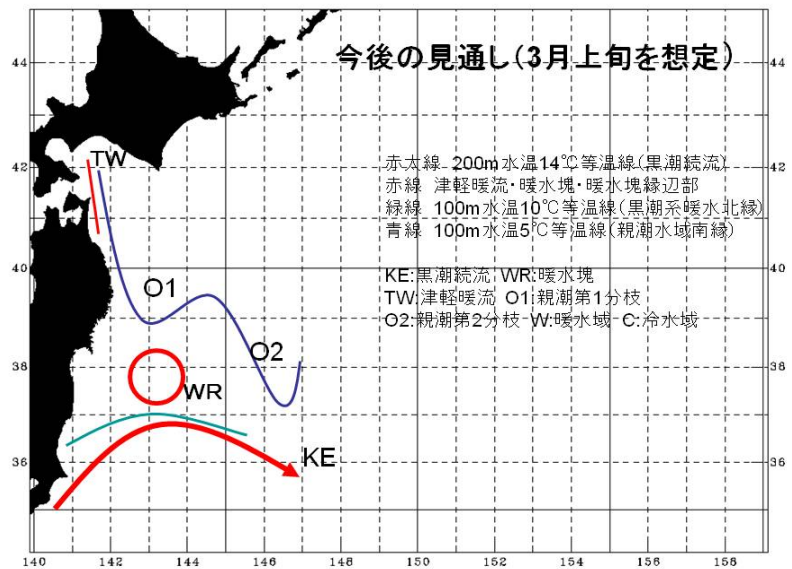


平成23年度 第2回 東北海区海況予報

—別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果—

今後の見通し(2012年3月~4月)のポイント

- ・親潮第1分枝の張り出しは
平年並みで推移する。
- ・近海の黒潮統流の北限位置は
やや北偏~北偏で推移する。



問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所 業務推進部

担当: 野上、北川

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所 業務推進部

電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成 23 年度東北海区海況予報 第 2 号

《今後の見通し (2012 年 3 月～4 月) 》

- (1) 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏～北偏 (北緯 $37^{\circ} \sim 37^{\circ} 50'$) で推移する。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は、平年並みで推移する。
- (3) 金華山沖の暖水塊は停滞し、釧路沖の暖水塊は消滅する。
- (4) 親潮第 1 分枝の張り出しは平年並み (北緯 39°) で推移する。
- (5) 親潮第 2 分枝の張り出しは南偏 (北緯 37°) で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは弱勢 (東経 $141^{\circ} 40'$) で推移する。

《海況の経過 (2011 年 11 月～2012 年 1 月) の特徴》 (注) FRA-ROMS システムによる結果

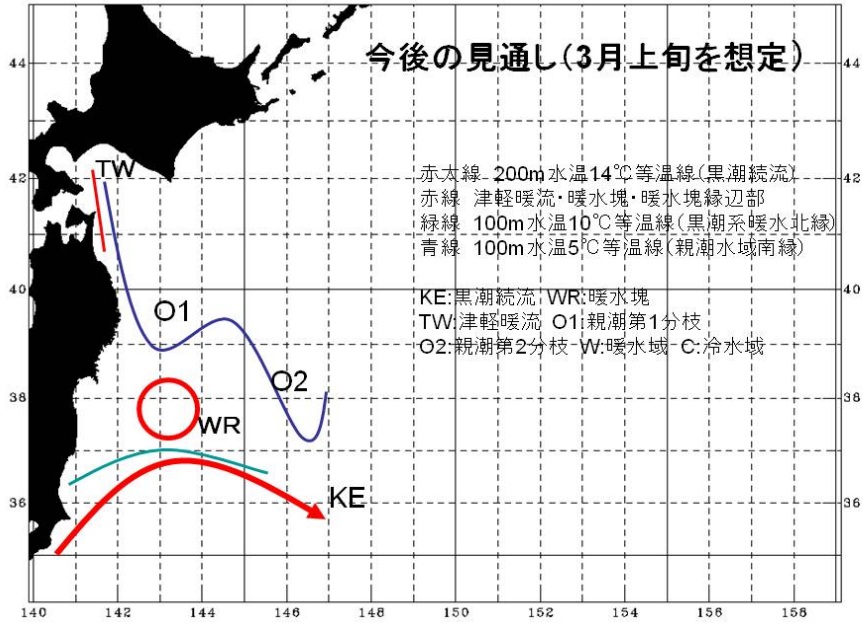
- (1) 近海の黒潮続流の北限位置は、平年並み～やや北偏 (北緯 $36^{\circ} 30' \sim 37^{\circ}$) で推移した。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は、平年並みで推移した。
- (3) 根室南東沖の暖水塊、および三陸沖の暖水塊は停滞した。
- (4) 親潮第 1 分枝は、12 月まで根室南東沖の暖水塊に南下を阻まれていたが、1 月に平年並み (北緯 40°) となった。
- (5) 親潮第 2 分枝の南限は、平年並みで推移した。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並み (東経 $143^{\circ} \sim 142^{\circ} 30'$) で推移した。

《現況 (2012 年 2 月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMS システムによる結果

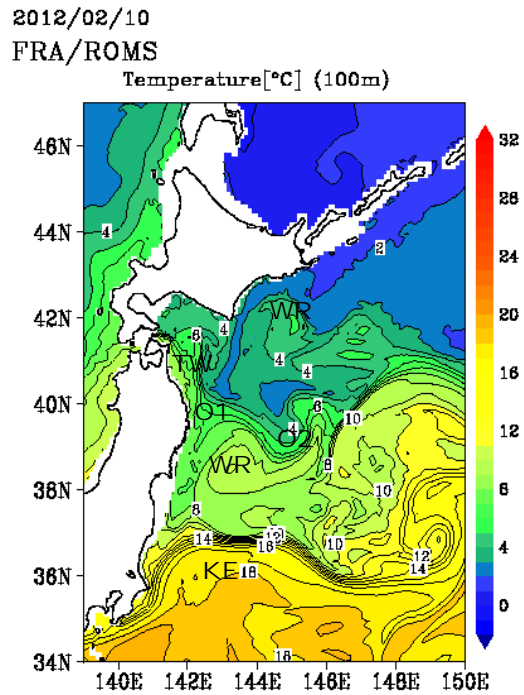
- (1) 近海の黒潮続流の北限位置は平年並み (北緯 $36^{\circ} 30'$) である。
- (2) 近海の黒潮系暖水の北限位置は平年並み (北緯 $37^{\circ} 10'$) である。
- (3) 暖水塊が金華山沖約 170km、釧路南南東沖約 150km にある。
- (4) 親潮第 1 分枝の張り出しは平年並み (北緯 40°) である。
- (5) 親潮第 2 分枝の張り出しはやや南偏 (北緯 $38^{\circ} 40'$) である。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは平年並み (東経 $142^{\circ} 30'$) である。

(注) この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2011 年 10 月より試験運用を開始した FRA-ROMS システムを用いている。

3月上旬予測水温分布図（100m 深）



2月上旬現況水温分布図（100m 深）



図中の記号はそれぞれ O1 が親潮第 1 分枝、O2 が親潮第 2 分枝、C が冷水域、WR が暖水塊、KE が黒潮続流、TW が津軽暖流を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---